



ハチ岳中央農業実践大学校

ニュースレター

2023年12月号 No.12



師走の候、貴校ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。年の瀬を迎え、お忙しくされていることと存じます。

いよいよ冬本番を迎え、本校周辺の朝の気温は、連日氷点下となりました。

12月のニュースレターをお届けいたしますので、ご活用ください。

森づくりワークショップ

例年より早く、11月下旬に、積もるほどの雪が降りました。今年は暖冬との予報ですが、雪や寒さに注意が必要です。

各校が植樹したさつきも雪に覆われました。

冬の間、樹木は冬眠をしているように見えますが、実際には活動しています。夏の暑い時期に比べると、活動量は2~3割程度だそうです。この時期に吸収された養分は根に蓄えられ、春の芽だしに必要なエネルギーとして使われます。

冬の間も樹々の成長を見守っていきます。



プロモーションビデオ

二つの中学校にご協力いただき、本校農林体験学習のプロモーションビデオが完成しました。

9つのワークショップの内容を動画でご覧いただけます。軽快な音楽とともに、指導員の声、子どもたちの声が収められていますので、音声も併せてお楽しみください。

是非、本校農林体験学習のHPからご覧ください。

Poultry Farming

養鶏ワークショップ

冬になると渡り鳥の飛来が本格化し、高病原性鳥インフルエンザへの警戒が強まっています。そのため、全国的に屋外での放牧（放し飼い）は制限されます。これまで鶏舎の中と外を自由に移動していた鶏たちは、一日中、鶏舎の中で過ごすことになりました。



やさいワークショップ

来期に向けての畑作りは順調に進んでいます。

冬が訪れる前に堆肥を作り、発酵させ、畑全体に撒くことで、気温の低い冬の間も、土の中では発酵が続きます。体験学習の畑では、籾殻、米ぬか、酒粕、貝の殻、鶏糞を混ぜて、繰り返し、トラクターで土起こしを行いました。土はふかふかになりいい状態で冬を迎えられそうです。来期も美味しい野菜ができるのではないかと期待しています。

